



日刊 日一十月三年五和昭
郵税十五錢 一月二角
廣告料 一行四十錢
發行所 新報社
福島県新報社
福島市本町二丁目
電話 二二二

威大なる銃後の力 決心に立つ愛婦總會

一千余名の會員を有つ平町で 本月末か來月の初め頃

愛國婦人會平分會では現在一
千余名の會員に達してゐるが
近年各種の婦人團體が邦家の
非常時局に處して強き銃後の
力となるべく目ざましき活動
あるに列し從來に倍して固き
決心に立つべく久しく開催さ
れなかつた分會の總會を催す
筈で既に其の準備中であるが
會期は本月末か來月初めにな
らしく磐城高女の講堂を會

片濱線愈よ有望 好報に歡ぶ再陳情

湯本線側の潜行運動に對し 今日平町の陳情員上京

平小鐵道布設の片濱線は全
然私利私欲關係を有するに因
るものでない沿線部民を擧げ
ての熱心なる實狀具申によつ
て漸次有力化されて來た模様
であるに對し内田前鐵道時代
畧ぼ決定を擧へられて志望の
成就に喜悅滿面をひそかに持
してゐた湯本迂回線側の狼狽
一方ならざるものあり前記片
濱線の平町外敷ケ町の表面
的運動とは手段をかへて代議
士及び縣議連を策の陳頭に立
て、裏面戰に巧妙な秘術を盡
して大炭鐵を背景とする資力的
關係にも有力な潜行運動ある

増田檢事正 初巡視

今日正午來平
福島地方檢事局新任増田檢事
正は昨六日福島市から本縣濱
通りの初巡視中で當夜中村町

兄嫁殺の犯人は 極端なる恐怖性

世上の想像を逞うされたる 邪戀の事實全然なし

既報小名濱町の兄嫁殺し犯人
齋藤平弟昌治三の殺害原
因は精神異常による錯覺感と
見られてゐたが其の筋の詳細
なる取調に於ても世上にシ
テ驚愕を逞うされた邪戀の如
き事實はなく兇行直後に陳述
したる兄夫婦が自分を相當多
額の生命保険に入れて無き者
にせんとした云々の保険契約
もないことが判つたが同人の
病的特性は常に恐怖を抱く癖
があり二十五才まで鐵道の電
信留接生を勤め精神異常の爲
め退職後の四年間兄夫婦に
懇切な扶養を受けながら約一
ヶ月前から病勢を昂めて一層
その恐怖性が募り自分を學術
研究の名目をして殺した後解
剖に附する心組んで絶えず首
を刎はれてゐる様な氣がして
ならず愈よ自己の身邊に危険
が切迫して來たものと極度の
恐怖心を以て兇行の四、五日
前から覺悟を決し左なきに
精神異常者の誤つた推想が先
入主的となつたものであらう
兄夫婦の私語するものも自分
を害さんとする相談に聞き取
られて兇行當夜は兄より先き

常識講座

ボジションは立場、地
位、位置の意である。
ボチチブなる確實なる
又は積極的な調で別
の意には原語から燒つ
けられた透明費をもそ
う云ふ、ボジションは
部分または分配高の事

本縣に初めて來る グライダーの飛行

來る十四日小名濱の上空で 志鶴線縦士の高等飛行

東京日日と日本航走飛行聯盟
主催グライダー、グッペンゲ
ン一型高性能航走機の日本一
選飛行は來る十四日午後一時
二十分飛行機に牽引されて小
名濱町に來着の筈であるが本
縣下に於て初めての同機飛行
地方人から着意を待たれて
同機の縦縦士は二等飛行士
志鶴忠夫氏で同町二百米から
八百米の上空に於てグライダー

求人開拓奏効 百四十名片付

關西は賃銀も設備もよいが 一般に解雇職工を好まぬ

平町職業紹介所に於て昭和人
網の火災による失業男女を
合せて三百三十四名を就
職斡旋に地方としては全く困
惑を告げたため關西方面に向
つて四家所長の求人開拓を行
はれたことは既報したが各工

金十五圓只飲

横須賀市佐野町五一〇銀治職
駒田實司(四)は昨六日午後十
一時頃石城郡内郷村の料理店
昭和亭小春春吉方に登樓し
所持金十五圓の分を飲食し
いざ勘定となつて無一文と判
つた被害者宅から其の筋に突
き出され平署の取調中であ
るが實司は無銭飲食の常習者
らしく同様手段で各地を荒し
てゐる模様である

銅線泥と 借金詐欺

昨六日檢査さる
石城郡内郷村の綴字川原田居
住山形縣最上郡角川村生れ安
食恒雄(三)は本年一月から去
る四月に亘り磐城炭礦平發電
所外各炭礦から前後八回に亘
る銅線十五貫價九十五圓を窃
る

前借踏倒の酌婦 伊豆下田で逮捕

石城郡内郷村の綴字町田料理
店鈴木留四郎方に於て去る二
月二十七日水戸市谷中町料理
店岩本屋支店から住み替へる
千葉縣安房郡館山北條町生れ
渡邊けい子(三)を前借三百八
十圓で抱え自宅に同伴の途上
水戸署で前記けい子に逃走さ
れたことは當時報導したが其
の後巧みに姿をくらましてゐ
た同人は最近遂に伊豆の下田
町に於て取押へられた

俗解海話

抄録
(3) はの字抜す記
此の海底山脈は長さ實に一
千余里に亘つてゐるけれども
山頂と低部の差は三、四千里
に過ぎない、元來海底は深い
所であつても陸面の溪谷とは
大きな相異を例へば海底の斜
面の急な所は我が國の三陸地
方及び北海道の東から「タス
カラ」海床までは直經約一
うだ、されば是まで世界中で
あるから我が國上東北海底は

天孫報

今晩は北西の風、晴
明日は南東の風、晴
(小名濱測候所)

産業

泥鰯の蓄養と運搬方法 (下)

空腹なものは程永い運搬に堪える

此の籠一個に一貫目乃至一貫四、五百匁を容れ、四個または五個重ねたものを一本と稱し最上部の蓋の上に夏は氷塊を入れ其の解け水で下部の各籠を冷却し運搬中の死傷魚を豫防する、主産地の何れも多くは角形の竹籠を用ひてゐるが特に三重縣では統一尺六寸、横一尺五寸、深さ七寸のものを用ゑ其れに二貫五百匁を容れて夏季は適當に砕いた八百匁内外の氷塊を籠と一諸に容れて此の籠二個を合せて繩で括り一コリとし其の上を竹篋で捲き運搬してゐる、また愛知縣では縦二尺五寸横一尺五寸深さ九寸の竹籠内に新聞紙を敷き夏季は泥鰯五匁に砕いた氷塊を入れ冬期は六匁より八匁を容れ其の上をアンペラで捲いて運搬してゐる、

新潟縣のものは縦一尺六寸の籠に二貫二百匁を容れ夏は更に八百匁内外の雪を入り此の籠二個を合せて一コリとし其の上をアンペラで捲き再び繩を施して運搬する、運搬についての注意は捕獲された泥鰯は腹の中に種々の食物があるので直ちに運搬すると非常に弱く従つて死し易い、しかし空腹になつたものは強健で永い運搬に堪えるものである、平地方に運ばれる場合は必要が少ないので地廻りものが多く他からの移入で

は相馬郡方面及び隣縣茨城の多賀郡方面からも若干來てゐるが送給事業はまだ現はれてゐない(完り)

モビル油

日本株式会社

油問屋 關内油店

電話長 16

支店 支那山市驛前通 電話長三二八

支店 茨城縣本縣前 電話長平澤七三

支店 油槽出張所 平町四丁目 郵便局前

大森醫院

内科、小兒科

醫學士 大森 勇

平町南町 電話二五八番

別館 静かなお座敷！ 落成 氣がるな食堂！ 共に

お客様の御満足を頂けると存じます

和洋料理 一の井

平、町田五 電一六七

停車場へも本町へも近よ二丁目北裏の中頃でございませう、警察署前通と驛前新道通との間道でございませう、

いづれからもお運びが便利でございませう、

お醤油は ヤマフル

醤油味噌 たひら正宗 鯉節食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話 本営業部 二一七〇番

山崎合名會社

春の流行洋品

ワイシャツ ソフトボーシ 新柄ネクタイ

今春代表作 是非御覧下さい

新選 ショール ハンドバック 晴雨 パラソル

ツルヤ

平町四丁目 電一四〇

北川外科

外科一般特ニ内臓外科 皮膚科 肛門病科

レントゲン科 物理療法科

平町新川町 (諸橋醫院跡)

イッテモ 入院出来

醫學博士 北川 芳夫

醫學士 奧 義弘

醫師 小林 良次

電話 四六四番

しづかに	食事の出来	る	正しい	正しい	正しい
酒場	茶	酒場	酒場	酒場	酒場

スペイン G.H.N 元詰

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・10

舞臺入の方には少し水を加へて 召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋薬舗 (電3)

債券 公債 両替 金融

多田井質店

平町大工町 電話五九一番

鼻の諸病に快鼻湯

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用薬並に内服薬を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの續が各地から参つて居ります

効能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く

製劑販賣元 水野藥局

磐城平町一丁目(電話六九九番) 振替口座仙台(八八七六番)

平町新川町一七 電話三七〇番

婦人科 五十嵐醫院

醫學博士 五十嵐 雄二

入院隨時 手術室完備

目科療診

一、齒科 一般

一、口腔外科

一、レントゲン科

保存科、補綴科、齒槽工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿瘍科

中野齒科醫院

院長 日本齒科 醫學士 中野 惠次

平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

價を低く 質を高く

食品廉賣は 西村屋

平町五丁目 電話五〇九番

マクネトロン

百萬の富より健康

此新療法で病弱を御試しなさい

「治療代」は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施致します

嘘か實か百聞一見御試し下さい

治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九) 日没後は一丁目自宅(電話四七〇)

醫療士 飯田 近治